

自治体における生成 A I 導入状況等

令和 6 年4月24日

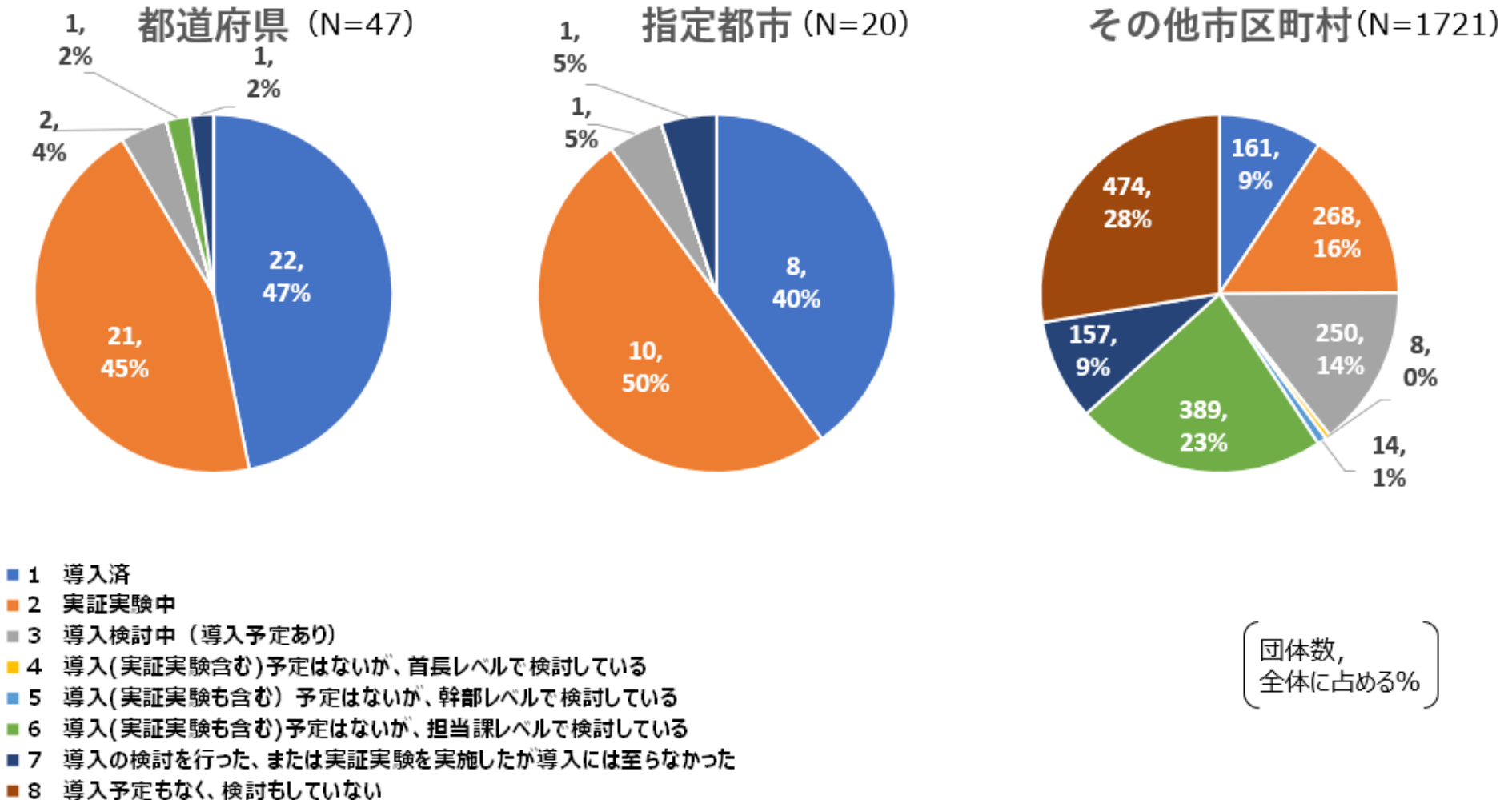
地方自治体のデジタルトランスフォーメーション推進に係る検討会 資料

- 第33次地方制度調査会における「ポストコロナの経済社会に対応する地方制度のあり方に関する答申（2023年（令和5年）12月21日）」において、「**生成AI**などの最先端技術を業務上利用する場合には、情報セキュリティ等のリスクへの対応に万全を期し、行政サービスの信頼性の確保に留意した上で、**業務の効率化、人員配置の最適化と創造性の向上のために有用な分野において、適切な活用の手法を検討することが重要**である」とされている。
- 答申も踏まえつつ、**業務効率化等のツールとして自治体、とりわけ小規模団体における有効利用を促す**べく、以下のスケジュールで検討会を開催し、その方向性を議論していく。

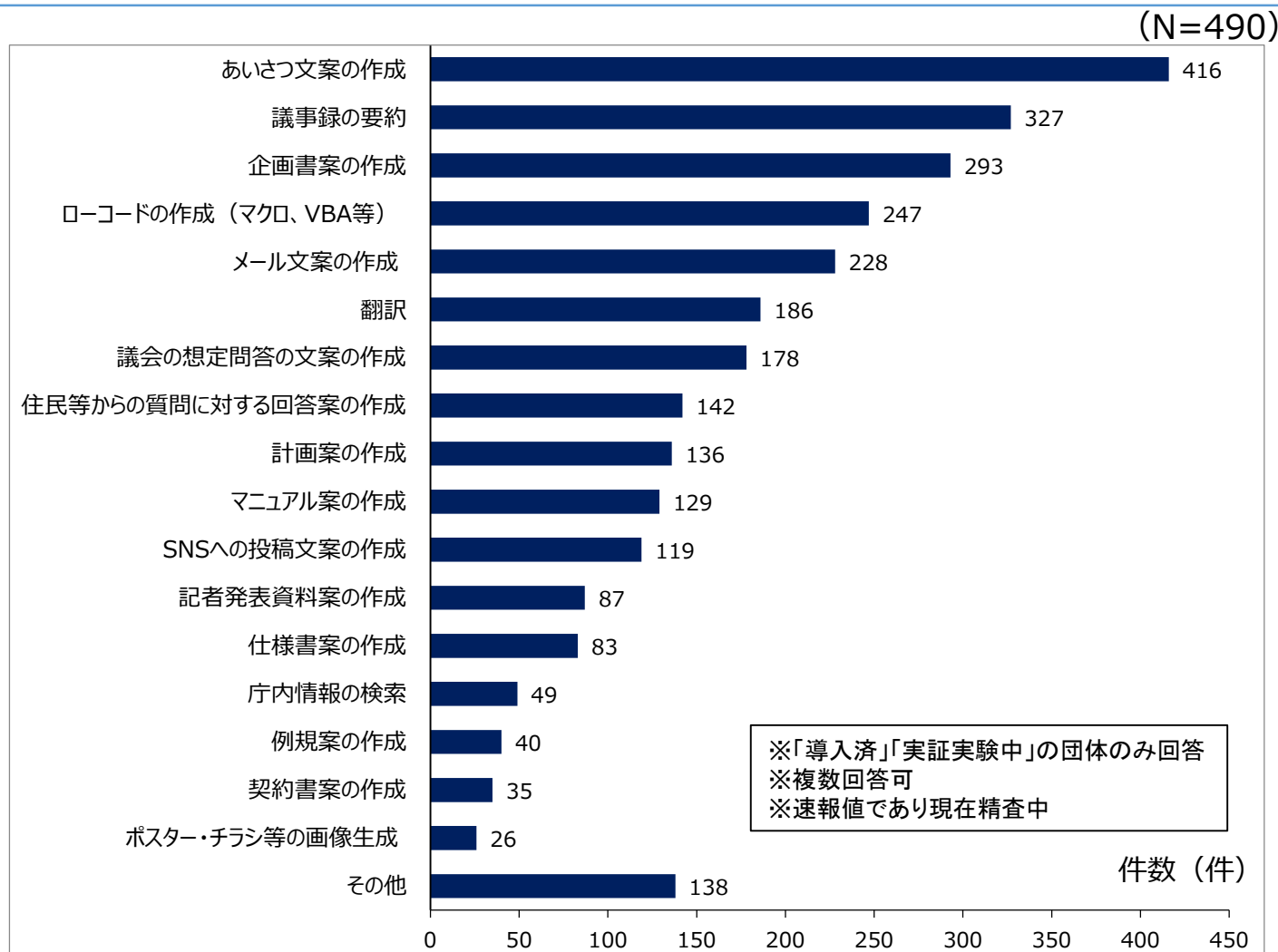
議題及びスケジュール（案）

4月	第28回自治体DX検討会	生成AIに関する自治体ヒアリング
5月	第29回自治体DX検討会	政府における生成AI活用の検討状況の確認 ヒアリング結果を踏まえた生成AIに関する論点整理
6月 ～ 7月	第30回自治体DX検討会 ～	1～2回程度開催し、今後の方針・施策等を検討？

- 生成AIを導入済みの団体は、都道府県で46.8%、指定都市で40.0%、その他の市区町村で9.4%となった。



- 生成AIの活用事例は、回答の多い順に「あいさつ文案の作成」、「議事録の要約」、「企画書案の作成」、「ローコードの作成（マクロ、VBA等）」となった。

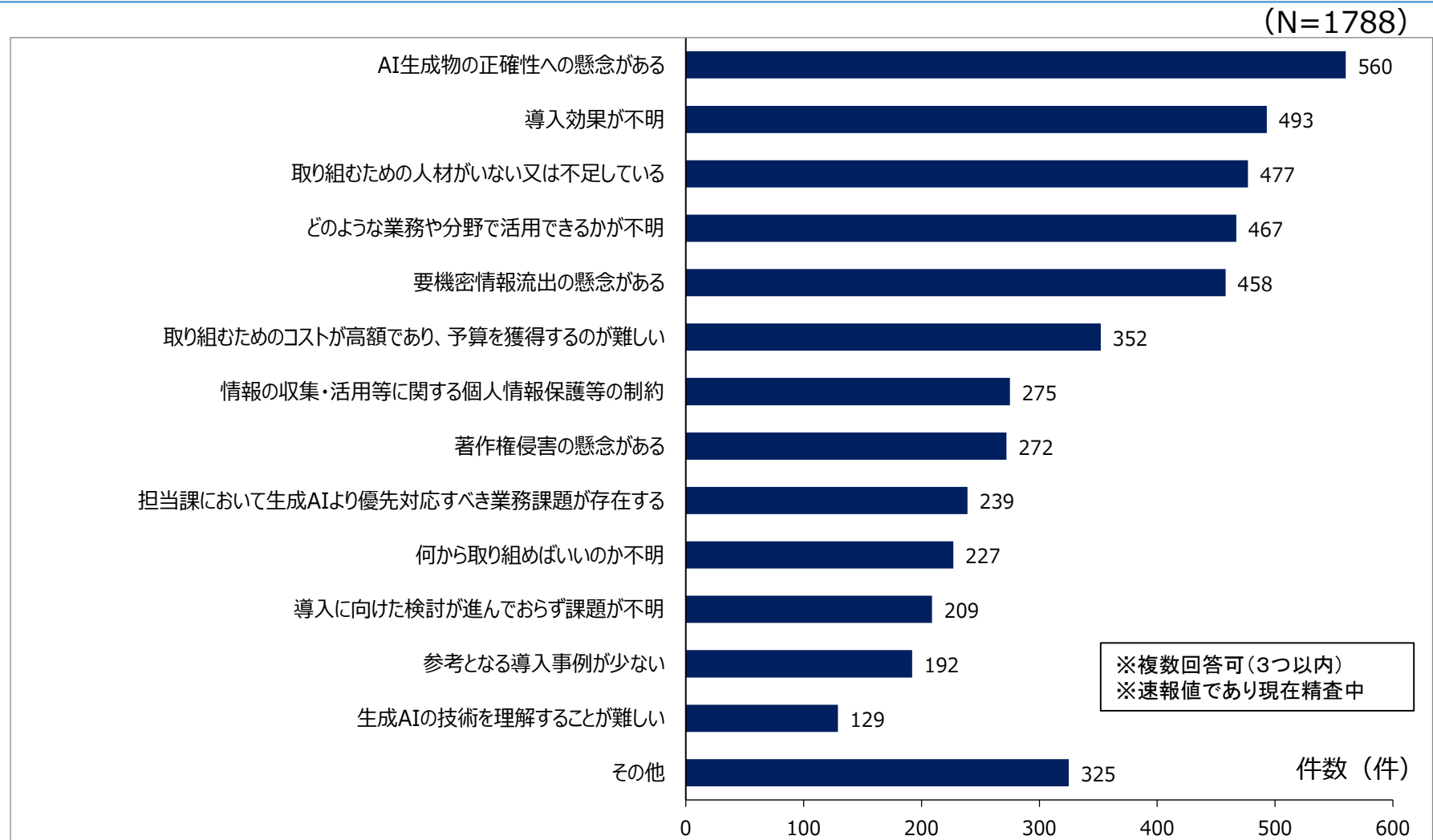


自治体における生成AIの導入効果

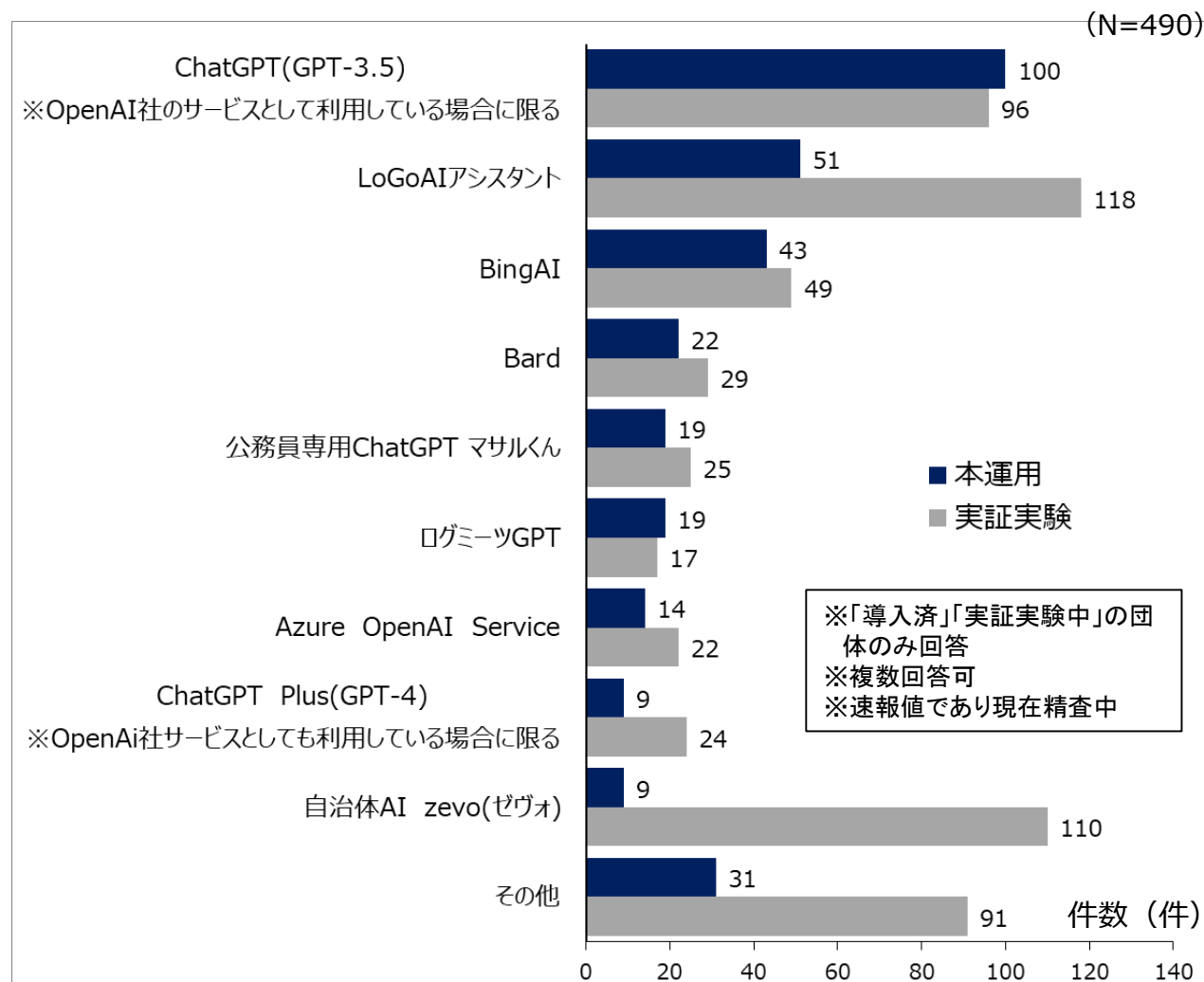
- 生成AIの導入効果として、活用事例の多い「あいさつ文案の作成」で1,000時間を超える業務削減効果があったほか、各種活用事例で効果があがっているものの、導入して間もないため効果を検証できていない団体もあった。

活用事例	導入効果	人口規模
あいさつ文案の作成	年間1,500時間の削減	19.6万人
あいさつ文案の作成	年間300時間の削減	3.9万人
議事録の要約	導入前に要していた時間のデータがないため、導入前後での業務削減時間の算定は不可能ですが、1件あたり、半日程度要していたものが、導入後は、少なくとも30～1時間程度までに短縮されていると推察しています。	4.6万人
ポスター・チラシ等の画像生成	年間160時間の削減	6.8万人
ローコードの作成 (マクロ、VBA等)	年間30時間の削減 (コード生成のみ)	3.4万人

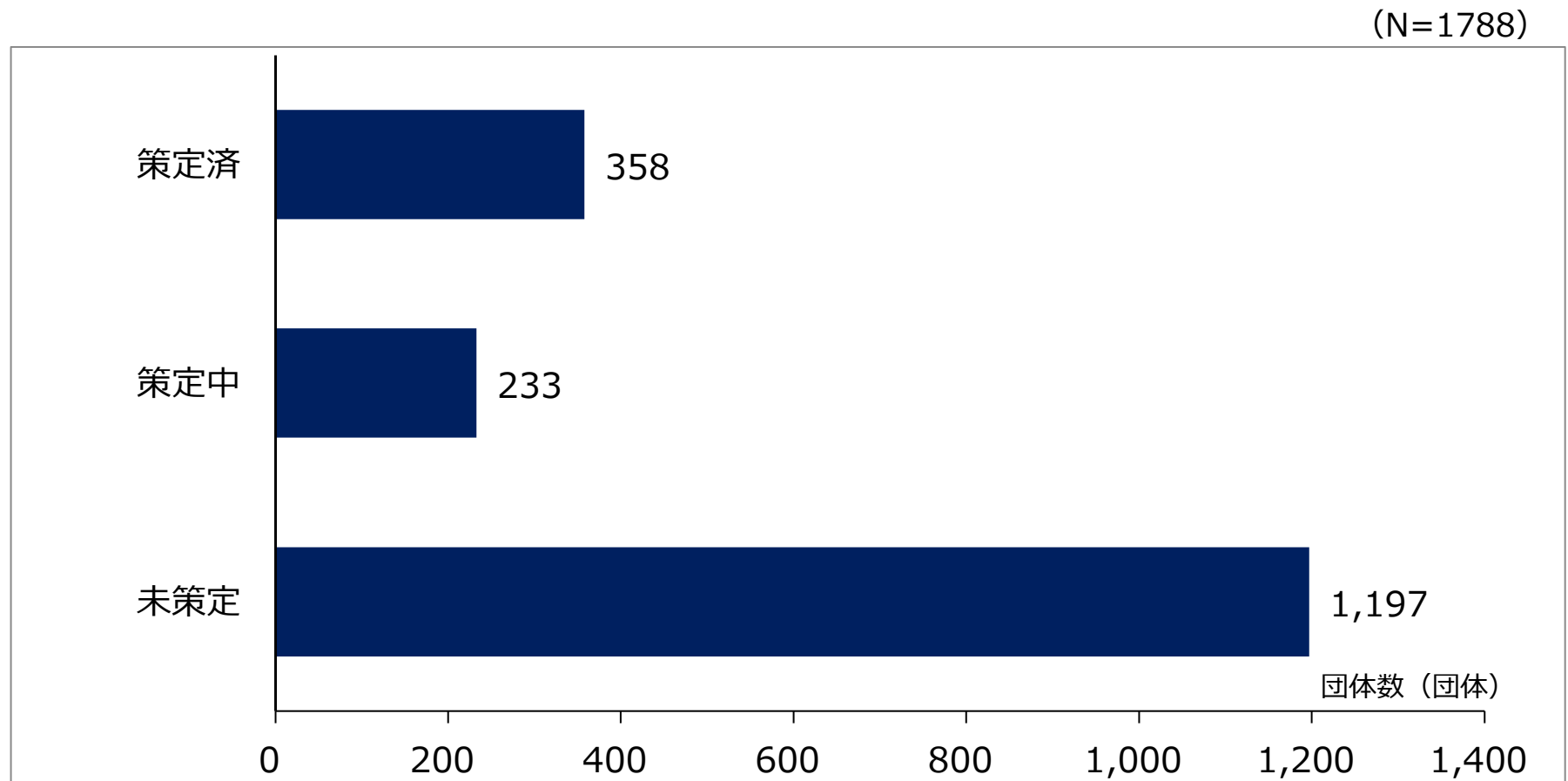
- 生成AIの導入における課題は、回答の多い順に「AI生成物の正確性への懸念がある」、「導入効果が不明」、「取り組むための人材がいない又は不足している」となった。



- 導入している生成AIのサービスは、本運用では「ChatGPT(GPT-3.5)」、実証実験では「LoGoAIアシスタント」が最も多かった。

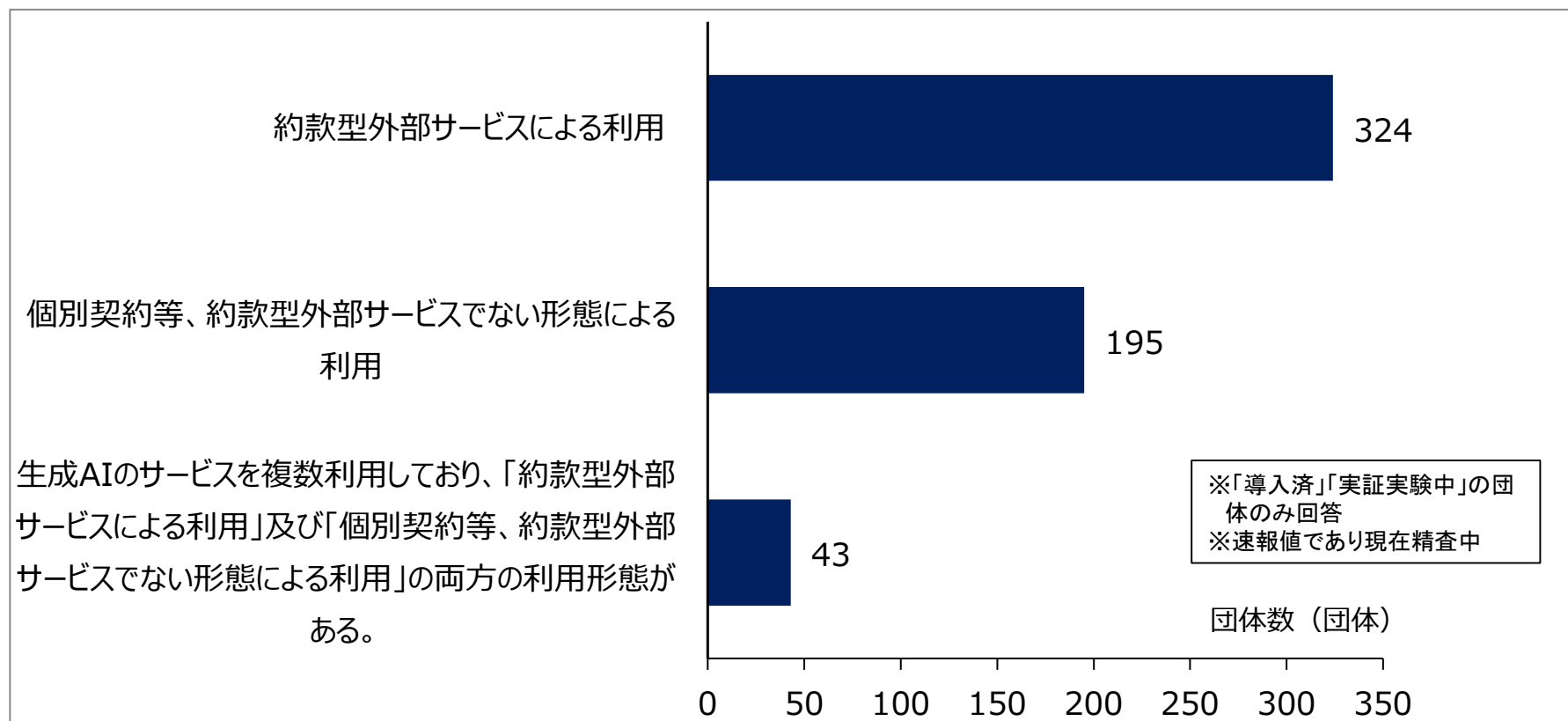


- 生成 A I 利用におけるガイドライン策定状況は、「未策定」が最も多かった。



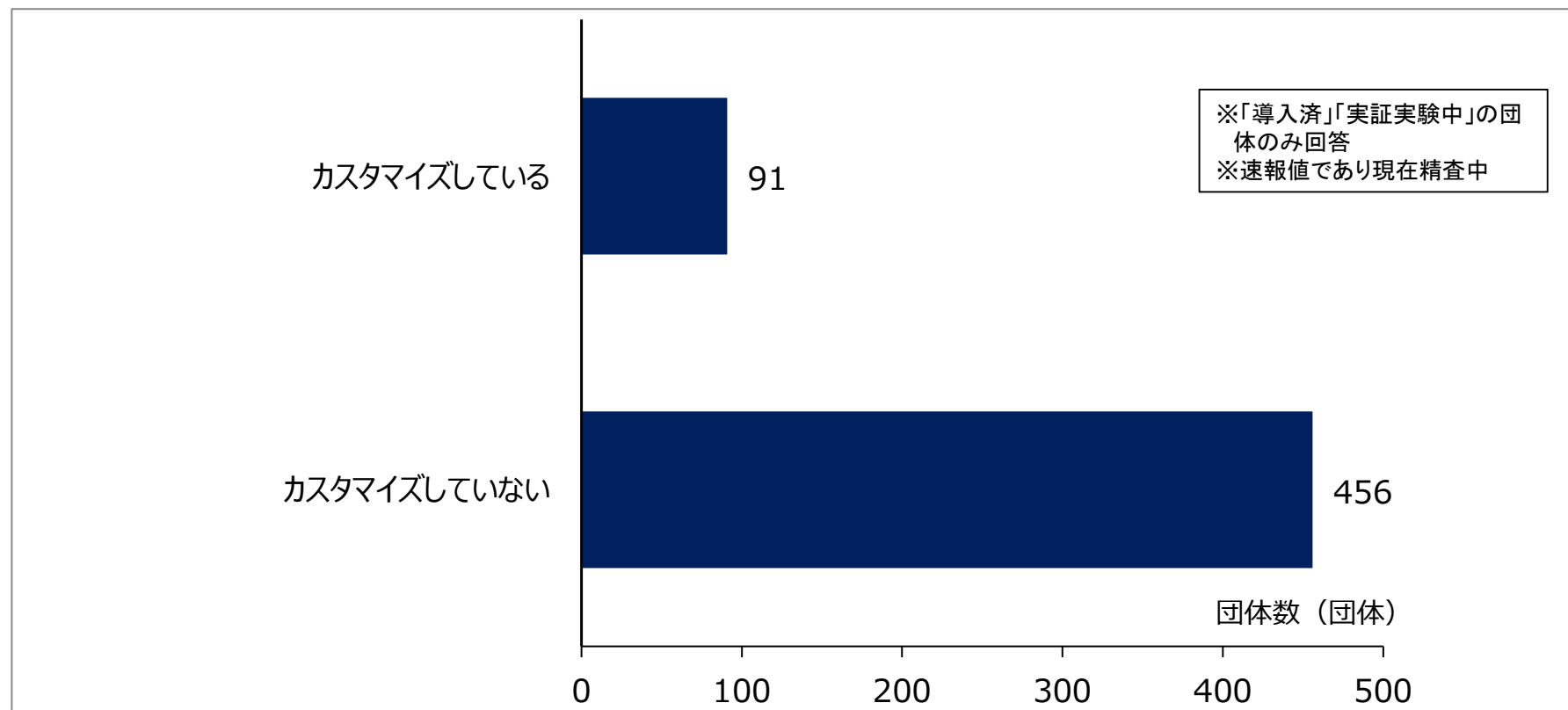
- 導入している生成AIの利用形態は「約款型外部サービスによる利用」が最も多かった。

(N=490)



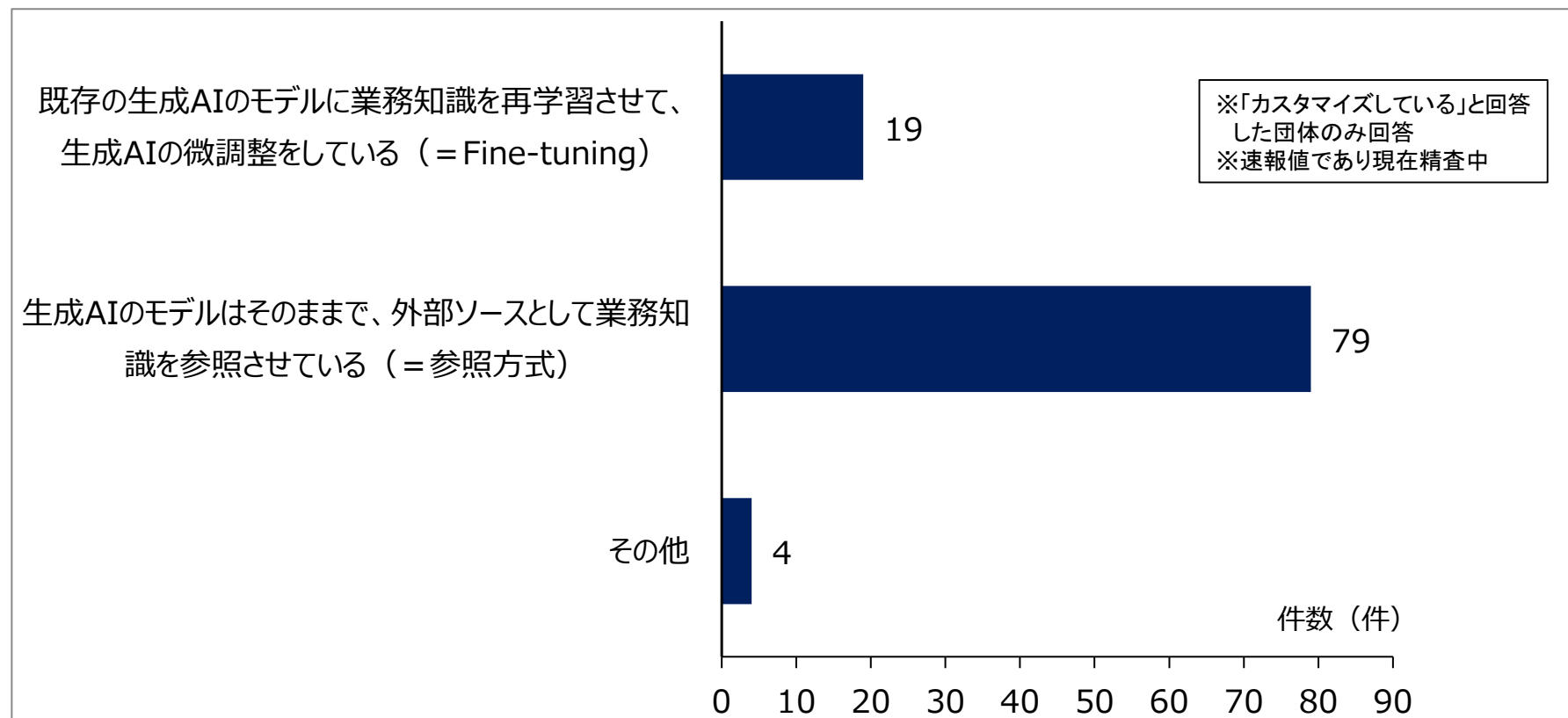
- 導入している生成AIのカスタマイズ状況は、カスタマイズしている団体数が91団体、カスタマイズしていない団体が456団体であった。

(N=490)

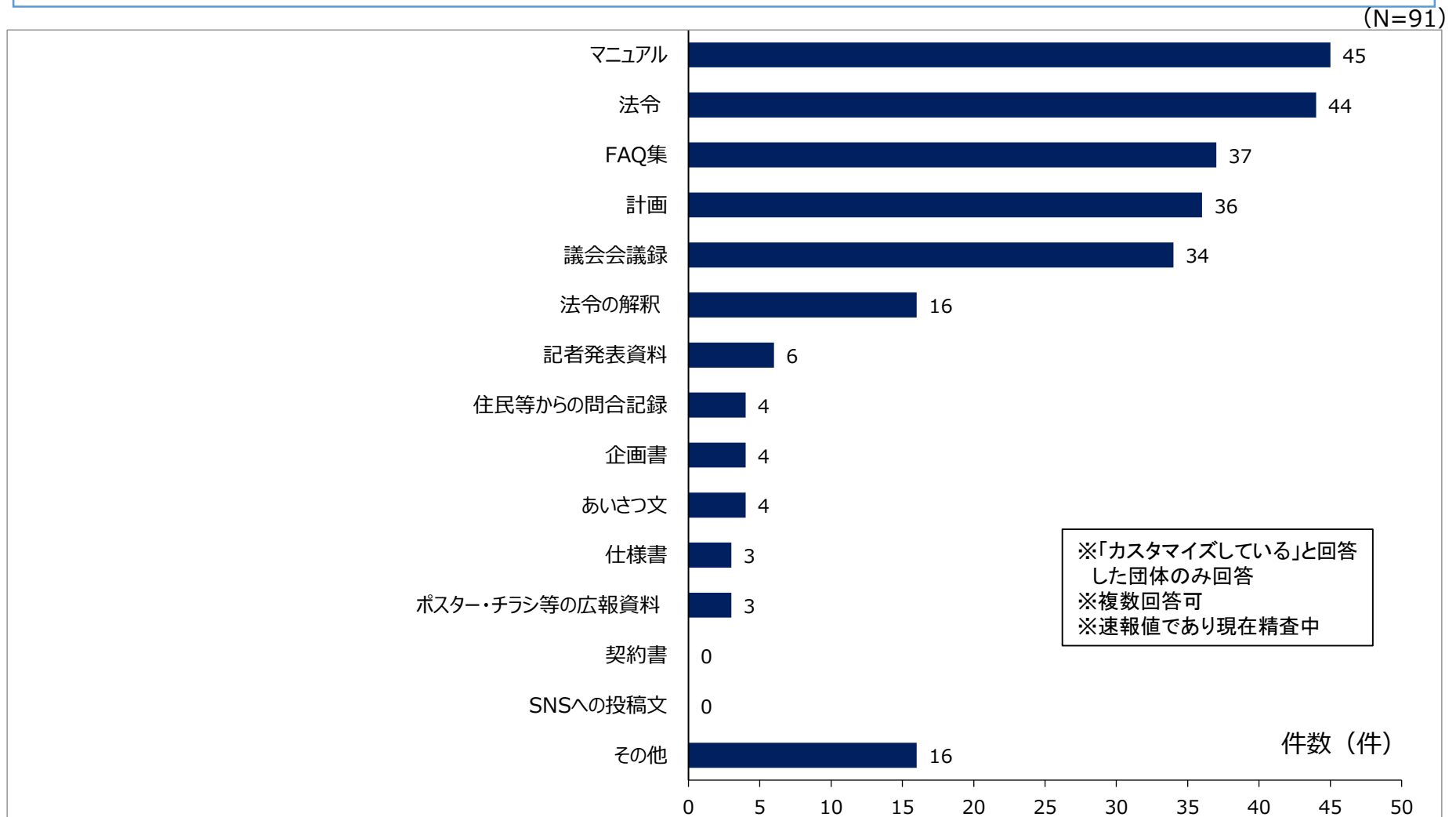


- 導入しているカスタマイズ方法は、「生成AIのモデルはそのまま、外部ソースとして業務知識を参照させている（＝参照方式）」が最も多かった。

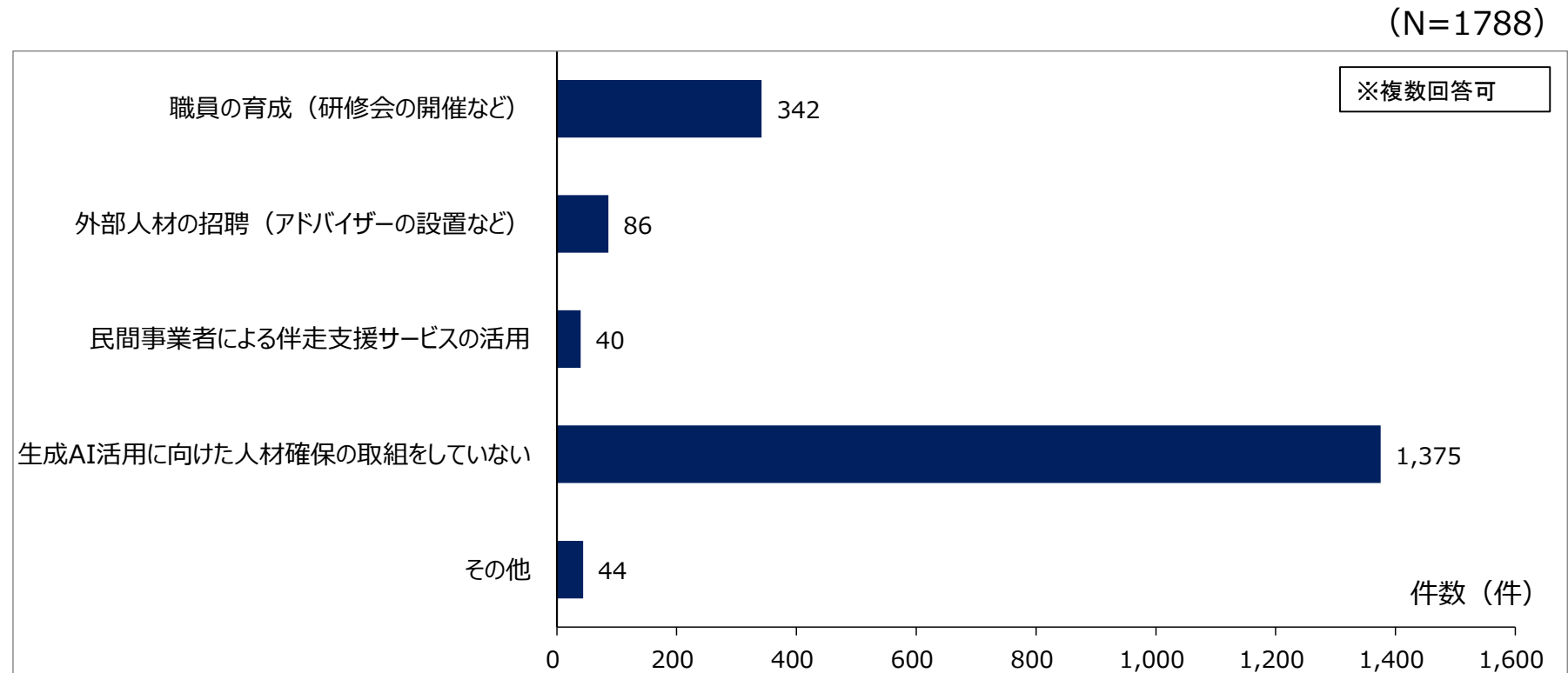
(N=91)



- 生成AIのカスタマイズ対象とした業務知識は、回答の多い順に「マニュアル」、「法令」、「FAQ集」となった。



- 生成AIの活用に向けた人材確保の取組は、「生成AI活用に向けた人材確保の取組をしていない」が最も多かったものの、実施している取組としては「職員の育成（研修会の開催など）」が最も多かった。



ヒアリング団体における 生成 A I に係る概況

No. 1 東京都

人口 1404.8万人（令和 2 年国勢調査）

● 基本情報

導入サービス／
Azure OpenAI Service
利用形態／
約款型外部サービスによる利用
カスタマイズ／
なし
カスタマイズの方法／
－
追加した外部ソース／
－

ガイドラインの策定／
策定済み

● 詳細な取組内容

生成AI導入時の課題

担当課において生成AIより優先対応すべき業務課題が存在する
AI生成物の正確性への懸念がある
著作権侵害の懸念がある

活用方法

- ・SNSへの投稿文案の作成
- ・あいさつ文案の作成
- ・翻訳
- ・ローコードの作成（マクロ、VBA等）
- ・議事録の要約
- ・アイデア出し

時間削減効果TOP3

1 －

2 －

3 －

その他の導入効果

－

人材確保の取組

- ・職員の育成（研修会の開催など）

No.2

神奈川県 横須賀市

人口 38.8万人（令和2年国勢調査）

●基本情報

導入サービス／

ChatGPT Plus(GPT-4)
miibo

利用形態／

約款型外部サービスによる利用

カスタマイズ／

あり

カスタマイズの方法／

外部ソースとして業務知識を参照
させている

追加した外部ソース／

FAQ集、記者発表資料

ガイドラインの策定／

未策定

●詳細な取組内容

生成AI導入時の課題

取り組むための人材がない又は不足している
情報の収集・活用等に関する個人情報保護等の制約

活用方法

- ・マニュアル案の作成
- ・議会の想定問答の文書の作成
- ・企画書案の作成
- ・記者発表資料案の作成
- ・SNSへの投稿文書の作成
- ・あいさつ文書の作成
- ・翻訳
- ・ローコードの作成（マクロ、VBA等）
- ・仕様書案の作成
- ・議事録の要約
- ・メール文書の作成
- ・他自治体からの生成AIに関する取り組み状況の問い合わせへの回答

時間削減効果TOP3

- 1 ローコードの作成（マクロ、VBA等）
- 2 あいさつ文書の作成
- 3 他自治体からの生成AIに関する取り組み状況の問い合わせに回答する（28.2時間）

その他の導入効果

「ローコードの作成（マクロ、VBA等）」において、本人がそういった知識を持ち合わせなくてもローコードが使用できるようになった。

人材確保の取組

- ・職員の育成（研修会の開催など）
- ・外部人材の招聘（アドバイザーの設置など）

No.3

静岡県 湖西市

人口 5.8万人（令和2年国勢調査）

●基本情報

導入サービス／

ChatGPT Plus(GPT-4)

LoGoAIアシスタント

利用形態／

「約款型外部サービスによる利用」、
「個別契約等、約款型外部サービスでない形態による利用」の併用

カスタマイズ／

あり

カスタマイズの方法／

外部ソースとして業務知識を参照
させている

追加した外部ソース／

記者発表資料

ガイドラインの策定／

策定済み

●詳細な取組内容

生成AI導入時の課題

取り組むための人材がない又は不足している
取り組むためのコストが高額であり、予算を獲得するのが難しい

活用方法

- ・例規案の作成
- ・計画案の作成
- ・マニュアル案の作成
- ・契約書案の作成
- ・議会の想定問答の文書の作成
- ・住民等からの問い合わせへの回答案の作成
- ・企画書案の作成
- ・記者発表資料案の作成
- ・ポスター等の画像作成
- ・仕様書案の作成
- ・議事録の要約
- ・メール文案の作成
- ・SNS投稿文案の作成
- ・あいさつ文案の作成
- ・翻訳
- ・庁内情報の検索
- ・ローコードの作成（マクロ、VBA等）
- ・コード作成（Python等）

時間削減効果TOP3

- 1 仕様書案の作成（83時間）
- 2 住民等からの問い合わせへの回答案の作成（61時間）
- 3 企画書案の作成（58時間）

その他の導入効果

「ポスター等の画像生成」において、著作権に留意する必要のないイラスト等を生成することができた。
「仕様書案の作成」において、詳細なシステム要求仕様書を作成することができた。
「翻訳」において、翻訳した文章の反訳をさせることで翻訳内容の正確性を確認することができた。
「マニュアルの作成」において、作成したコード（Cobol、Python等）をプロンプトとすることで、一般職員にも理解できるコードの説明を生成することができた。
「その他」において、生成AIにコードを出力させ、故障水道メーターの再起動自動処理をすることができ、職員の働き方改革につながった。
「その他」において、生成AIのAPIを活用したコードを出力させ、本調査Q15～Q22の分類および時間の測定ができ、生成AIの効果を定量的に確認できた。

人材確保の取組

- ・外部人材の招聘（アドバイザーの設置など）

※令和5年度「地方自治体におけるAI・RPAの実証実験・導入状況等調査」への回答から抜粋